



日本共産党 八王子市議会議員

市川かつひろの議会報告

〒193-0834 八王子市東浅川町 686-1
電話 666-5276 FAX 666-5276 メール matagiminara@gmail.com

発行 日本共産党八王子市議団 20期—No.21 2017年第1回定例会特集



私たちが直接防衛省
広報課に確認すると
「ブルーインパルスの
展示飛行は、どんな課
題で行うかは自衛隊の
責任で決め、100の
字を描くものはない」と
と断言。市街地上空で
の宙返りなど曲技飛行
は近年行っていないこ

とも確認されました。
議会中、初めて知つ
たという市民からは、「怖い」「とんでもない」といった声が上がつて
います。市長は、市民の反対の声を重く受け止め、防衛省への申請を直ちに取り下げるべきです。

防衛省への要請は市
議会や実行委員会に
諮ったものではありません。批判を受けても
「市で決めたから要請は撤回しない」という
態度を取り続けたことは許されません。

市街地上空での曲技飛行はありえない！

返る市制100周年の記念

石森市長は、今年に入つて、市制100周年記念のメイン行事「全国都市緑化はちおうじフェア」の開会式に自衛隊のブルーインパルスを呼んで大空に100の字を描いても

石森市長は、今年に入つて、らうと公言。私たちは、2月14日、都市緑化フェアを市民みんなで祝う内容にするため、生活者ネット・社民党・市民自治の会とともに自衛隊への要請を撤回す

みについてお知らせします。

事故の危険、爆音被害はごめんです ブルーインパルス

2017年度予算案などを審議する第1回定例市議会が行われました。日本共産党市議団の主張と取り組みについてお知らせします。

石森市長は、今年に入つて、

市制100周年記念のメイン行事「全国都市緑化はちおうじフェア」の開会式に自衛隊のブルーインパルスを呼んで大空に100の字を描いても

石森市長は、今年に入つて、らうと公言。私たちは、2月14日、都市緑化フェアを市民みんなで祝う内容にするため、生活者ネット・社民党・市民自治の会とともに自衛隊への要請を撤回す

るよう市長宛に申し入れ、議会でも追及しました。

核兵器禁止条約実現へ政府は役割を果たせ

日本共産党が意見書を提案…自民・公明が否決の暴挙

市制100周年をみんなで祝う「なら

原価引き上げは負担増避けられず

公共施設は多くの人に利用されるべき

くらし・文化・スポーツに影響

八王子市は、「受益者負担の適正化」基本方針を策定しました。問題点を指摘しました。

市は、第8次行財政改革の適正化について議論してきました。

取り組みとして「受益者負担の適正化」について議論してきました。

市は、「受益者負担の適正化」基本方針を策定しました。問題点を指摘しました。

八王子市は、「受益者負担の適正化」基本方針を策定しました。問題点を指摘しました。

使用料等値上げ190項目で検討

別途計画で下水道料金の値上げも

日本共産党市議団の質疑に答える形で、対象となる使用料・手数料は190項目にのぼることを明らかにしました。公共施設の使用料や住民サービスに関する手数料が全面的に見直され、負担増が実行されれば市民のくらしや文化、スポーツ活動を直撃します。

日本共産党市議団の質疑に答える形で、対象となる使用料・手数料は190項目にのぼることを明らかにしました。施設を住民が積極的に利用できる条件・環境をつくります。

これが必要です。市の施設は、多くの市民に利用されてこそ、その目的が達せられます。施設を住民が積極的に利用できる条件・環境をつくります。

これが必要です。市の施設は、多くの市民に利用されてこそ、その目的が達せられます。施設を住民が積極的に利

用できる条件・環境をつくります。

これが必要です。市の施設は、多くの市民に利用されてこそ、その目的が達せられます。施

就学援助の拡充をはじめ 子育て応援の施策は前進



2017年度予算案では、日本共産党市議団が求めてきた就学援助の対象拡大や認可保育所増設など、子どもと子育て応援の施策が前進しました。高齢者と地域福祉の充実でも一定の成果がありました。しかし、国の介護保険制度改悪の影響が懸念されています。

日本共産党市議団がくりかえし求めてきた、就学援助の対象者の拡大と、国補助単価引き上げに伴う入学準備金が増額されました。入学準備金の3月支給につづく拡充です。

首都大学東京と連携して子どもの生活実態調査を行い、経済的に厳しい家庭の支援ニーズ把握と政策立案



高齢者福祉と介護の充実 ――問題点と若干の前進――

の取り組みも行われます。また、保育所の待機児解消をめざし、認可保育所5

園の新設及び増改築等、177人分の定員増を図ります。

付から外して自治体の裁量に任せる「介護予防新総合事業」の本格移行が行われます。

介護報酬単価の引き下げで介護事業所の経営が悪化し、ヘルパー資格のない人に家事援助を担わせる「基準緩和型サービス」の受け

皿が圧倒的に不足しています。市は、16年度末から人材確保のための研修をようやく始めましたが、今後必要なサービスが提供できるのか懸念されます。

一方、現在石川と川口地域で開設している地域福祉推進拠点を4カ所増設する予算が計上されました。さ

らに、館が丘団地、長房、中野に続き、東部地域には高齢者見守り相談室を設置することと評価できます。



地域密着型特養ホームについて、施設整備補助だけでなく新しく運営費補助が創設されます。施設整備は目標に達していないため効果が期待されます。

いじめのない学校と社会を 日本共産党 市議団の提案

第1回定例市議会に市長から「いじめを許さないまち八王子条例」が提案されました。日本共産党市議団は、「いじめをなくす取り組みは急務だが、条例案にはかえって取り組みを阻害する恐れのある規定が含まれており認められない」と反対し、「市条例案の問題点と解決の方向」と題した提案を発表しました。

向」という提言を発表しました。その柱は次の通りです（全文はホームページに掲載しています）。

いじめは子どもにとって重大な人権侵害であり、成長に重大な影響を与えます。第一に、目の前のいじめから子どもたちのかけがえのない命、心身を守りぬくこと、第二に、いじめが発生し深刻化する要因を根本的に取り除く取組を前進させることが重要です。

しかし、いじめ防止対策推進法は、子どもに「いじめを行ってはならない」と行動を命令していることや、懲戒や出席停止を強調する厳罰主義、道徳や規範

意識だけを求める方向などに懸念が指摘されました。市の条例案は法の重大な問題点を受け継ぎ、「保護者の責務」や「子どもの役割」などを規定していることは不適切であり、いじめをなくす取り組みの障害になる恐れがあります。

そこで、私どもは、条例の問題点を指摘するだけでなく、いじめ問題の解決を図る立場から、先日、「いじめのない学校と社会をつくるために——市条例案の問題点と解決の方

1、いじめは人権侵害・暴力であり、市は子どもの生命と人権を最優先で守ること、いじめられずのこと、いじめられずの安全に生きる権利を子どもが持っていることを明確にする

2、学校のとりくみは「いじめの解決はみんなの力で」を原則に、全教職員の創意と努力を結集する

3、子どもたちの自主性を育て、いじめを止める人間関係をつくる

4、いじめを受けた子どもやその保護者の真相を知る権利を保障するとともに保護者に過度な責任を負わせない

5、子どもたちの健やかな成長を保障し、いじめのない学校づくりのため、市として教育環境整備・拡充に力を尽くす

6、いじめの根本にある、子どもたちの過度なストレスと苦しみの解決を

八王子の自然と環境を守りぬこう

川口物流拠点整備事業はただちに中止を

八王子市外も含め、工場跡地など代替地はたくさんあります。川口物流拠点整備計画は直ちに中止すべきです。



都主催の公聴会で意見を述べる市民=3月1日

たちの人間関係を豊かにすること、子どもたちが夢と希望をもつて通える場所となる関係者、市民のみなさんと共に引き続き努力していく決意です。